

DX Starter 事例集

～DXはじめの一步～

佐賀県アクセラレータ事業受託・支援事業者  十八親和銀行

簡易ツール体験・導入支援 10社

No.	企業名	業種	所在	取組内容
1	(有)ボデーショップ平山	自動車整備	伊万里市	公式LINE/LINEWORKSの導入支援
2	RISEN(株)	建設業	伊万里市	kintoneの導入支援
3	(有)ティーム	医療、福祉	伊万里市	kintoneの導入支援
4	(株)GOTENリゾート	宿泊業	太良町	LINEWORKSの導入と活用
5	(株)副島金物	卸売業	佐賀市	LINEWORKSの導入支援
6	START HOUSE(株)	建設業	伊万里市	LINEWORKSの導入支援
7	特定非営利活動法人 睦	医療、福祉	唐津市	kintoneの導入支援
8	(株)愛まんてん	医療、福祉	武雄市	Googleスプレッドシートの導入
9	特定非営利活動法人 ひまわり	医療、福祉	唐津市	LINEWORKSの導入支援
10	(株)バリアフリーLife	医療、福祉	唐津市	kintoneの導入支援

※No1～3の企業は別紙・動画でのご紹介

デジタル化機運の高まった先 20社

No.	企業名	業種	所在	取組内容
1	特定非営利活動法人 温暖化防止ネット	学術研修、専門・技術サービス業	佐賀市	サイボウズofficeの導入
2	(株)辻薬店	医療、福祉	唐津市	セミナーをきっかけにデジタル化に着手
3	克エンタープライズ(有)	教育、学習支援	唐津市	グループウェアを自社導入
4	(株)ヤマグチ建設	建設業	唐津市	セミナーを受講し気付き情報あり
5	(医)善成	医療、福祉	伊万里市	セミナーをきっかけにデジタル化に着手
6	黒木建設(株)	建設業	伊万里市	セミナーをきっかけにLINEWORKSを導入
7	(株)山億	生活関連サービス業	伊万里市	社内雰囲気の変化
8	(社福)花心会	医療、福祉	伊万里市	社内雰囲気醸成が図れた
9	ユウシード東洋(株)	複合サービス業	伊万里市	スケジュール管理についての取組みがスタート
10	協立産業(株)	サービス業	伊万里市	現場と事務所間のデータのやり取りをクラウド化
11	(有)城月堂	小売店	伊万里市	情報共有ツールの導入に向けた、全社的な取り組みに発展
12	西松浦通運(株)	運送業	伊万里市	勤怠管理～給与計算～WEB明細発行の分野に着手
13	(株)LCFARM	農業	伊万里市	自社の強みを活かし、従業員が誰でも使えるツールの導入を検討
14	伊万里ケーブルテレビジョン(株)	情報通信業	伊万里市	他社事例等を参考に自社にあった全社最適のデジタル化を模索
15	西海テレビ(株)	情報通信業	伊万里市	社内変革に向けた雰囲気醸成
16	(株)ブリスにしやま	小売業	西松浦郡	業務改善ツールの導入による情報の一元化
17	(株)一ノ瀬畜産	農業、畜産	嬉野市	LINEWORKSの自社導入を検討中。
18	鹿島印刷(株)	印刷業	鹿島市	バックオフィス業務全般の効率化
19	みやざき不動産 武雄	不動産業	武雄市	自社取り組みする意向
20	(株)ふれあい	医療、福祉	武雄市	小さなことからフォローを継続していきたい意向

簡易ツール体験・導入支援

採用活動に「LINEWORKS」を活用

～ スピード感のある情報の連携を実現 ～



課題・背景 (DXに取り組んだきっかけ)

✓ 佐賀県アクセラレータ事業(ナビゲート型)への参加がきっかけ

- ・ 佐賀県アクセラレータ事業に関心が高く、業務効率化とデジタル活用に取り組んだ。
- ・ 採用チームでの活用を目的に「LINEWORKS」を導入。社内勉強会を開催。
- ・ 入社を希望する学生や社会人との情報交換や面接日程の調整をデジタルを利用し実現。

取組概要・支援内容 (LINEWORKS活用の勉強会を開催)

1. 現状分析

- ・ 様々な業務領域で、ITツールを利用してきた経緯から、採用での活用を企図。
- ・ 採用担当者と入社希望者は電話やメール、個人LINEでやりとりする機会が多く、必要事項の伝達や面接の日程調整がスムーズではなく、情報管理の観点からも問題視されてきた。

2. 課題抽出

- ・ 情報管理(セキュリティ)面での安全を担保、かつ情報連携がスムーズに実施可能なツールを検討する。
- ・ 新たなツール導入のため、運用に関して社内ルールを新設する。
- ・ 採用チームから活用し、全社的な活用を視野に担当者を選定する。

3. 支援内容

- ・ LINEWORKSの機能、活用事例について説明実施。
- ・ LINEWORKS活用に有効な業務の洗い出しをサポート。
- ・ 社長、採用担当者と今回効率化を検討している業務に有効か否かを評価。
- ・ 採用担当者3名に向けて、LINEWORKSの勉強会を実施。

主な事業内容：宿泊業

- ・ 佐賀県内に2つのリゾート旅館を運営。
- ・ 蟹御殿(佐賀県藤津郡太良町)/ 風の森(武雄市)
- ・ 有明海の湯 / オレたちのカキ焼き家 / ネット販売(竹崎蟹、器、お茶)

従業員：72名



導入した感想

➤ LINEWORKSの導入と活用

(担当：荒川/代表、奥崎/採用担当)



様々な方の知見をより多く吸収して、自社で業務効率化に取り組める体制を構築してきました。その成果として社員各々が考え、いいものがあれば提案できる組織になったと思います。LINEWORKSは以前から知っていましたが、機能も改善され、使い勝手のいいツールになっており、当社の業務に合うと考え、導入しました。ツール機能のアップデート等の情報を提供いただけただけは、今回のプロジェクトの中でも大きかったと感じております。

「LINEWORKS」で社内連携を活性化

～ 情報連携ツールの導入 ～



課題・背景 (DXに取り組んだきっかけ)

✓ ニーズ喚起をきっかけに

業務上従業員が外出することが多く、各従業員間のスケジュールや業務状況の把握が難しいと感じていた。将来的な業務運営を見据えITツールを活用した情報連携を検討。



取組概要・支援内容 (簡易ツールの導入支援)

1. 現状分析

従業員同士のスケジュールの共有や外部工事業者との連携は担当者に属人化しており、セキュアで一元化できる仕組みを検討していた。

2. 課題抽出

- ・従業員同士で各人のスケジュール等が分かり、業務連絡が一元的におこなえる仕組みが欲しい。
- ・担当者に情報が属人的にならないよう、経営陣、他の従業員と共有できる箱が欲しい。

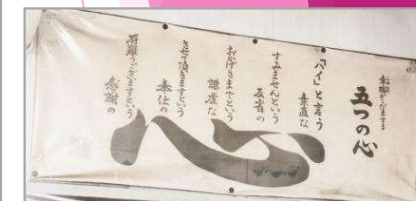
3. 支援内容

- ・管理者2名向けに情報連携ツールの導入支援研修を実施。
- ・まずは管理者にツールを理解していただくため、管理者を主としたデモ提示、実際に利用する場合の注意点や活用方法をお伝えした。
- ・現在、管理者より順次従業員への普及活動を行っている状況。

主な事業内容 : 卸売小売業

- ・創業150年の住宅設備資材や電動工具関係を主に取り扱う卸売業者。
- ・卸売～配送にとどまらず、施工も実施しており県内建設現場のトータルサポートをおこなっている。

従業員 : 24名



導入支援を受けた感想

➤ LINEWORKSの導入支援を受けて

(担当 : 古川/経理担当)

無料の簡易ツールを利用して、まずは社内で情報連携する仕組みをつくっていただけるのはありがたいと思います。今後は利活用できる従業員を増やし、外部の施工業者、建設会社とも案件共有やスケジュール共有ができるようになればと考えております。当社のようにデジタル化について「何からすればいいかわからない」と考えている企業にとって、今回のような佐賀県の取り組みはありがたいと感じました。

社員や顧客への情報連携がスムーズに ～ ビジネスチャットツールの導入～



課題・背景（デジタル化に取り組んだきっかけ）

✓ セミナー参加がきっかけ

- ・ 佐賀県の事業で開催されたDXセミナーへの参加がきっかけで、デジタル化に取り組むことを決意。
- ・ 既存の基幹ソフトは、見積り、請求、勤怠部分で活用していたが、部分的な利用で留まっている状況。



取組概要・支援内容（簡易ツール導入支援）

1. 現状分析

- ・ 新規顧客の集客はInstagram。主な受注はHPからの問い合わせや紹介。
- ・ 顧客情報等は「どっと原価」やPCフォルダに顧客管理フォルダとして残しているが、詳細情報は残せていない。

2. 課題抽出

- ・ 見積り・請求に関するデータ取込みはパートを中心に実施。
- ・ 残している顧客情報の活用を検討する必要がある。
- ・ LINEWORKSを自社導入しており、社長がアカウント管理者となっている。しかし、社長自身は、その役割を担いたくない意向があった。

3. 支援内容

- ・ LINEWORKS導入支援を実施。既存アカウントは運用せず、新アカウントを作成し、初期設定は専務と経理担当者に実施。
- ・ トーク、カレンダー、アンケート、ストレージに関してレクチャー。
- ・ 従業員の招待方法はQRコード及びURLからの招待方法を説明。
- ・ 住宅建築の際にお施主さまとLINEで情報連携しているとのことで、今後、LINEWORKSとLINEの連携も進めていく予定。

主な事業内容：建設業

- ・ 住宅の施工・リフォーム工事を行う
- ・ 伊万里市内に店舗を構える

業員：7名



導入した感想

➤ 定着化まで、あと少しです！

（担当：福島/取締役）

スケジュール共有は、ホワイトボードからLINEWORKSに移行中です。現在は、経理がホワイトボードに書かれたスケジュールをLINEWORKSに登録して、社長、現場従業員にはいったん「見てもらう」運用で、LINEWORKSの定着化を図っている段階です。お客さまとのスケジュール調整にてダブルブッキングが起きたり、漏れが発生していたのがなりました。（実際は定着していないのでまだある笑→なくなってほしい）案件管理、工程管理は建築設計士がExcelで管理していますが、ツール利用は、従業員数も少ないので、今は検討中です。

業務改善ツールで“脱紙業務”へ！

～ 業務改善ツールを導入～



課題・背景（デジタル化に取り組んだきっかけ）

✓ 佐賀県事業をきっかけにデジタル化に着手

- ・ 支援事業者による現状分析をおこない課題洗い出し。
- ・ 業種柄、連絡手段として紙媒体が多く柔軟な情報連携ができていないと従前より経営陣側も課題感があった。



取組概要・支援内容（情報連携ツールの導入支援）

1. 現状分析

- ・ 紙媒体での稟議申請書、議事録は複数人の印鑑押印作業が必要であり回覧作業に相応の時間がかかっていた。
- ・ 職員のスケジュール確認等が電話等で必要であり確認作業が手間。

2. 課題抽出

- ・ 職員はシフト制で毎日全員が顔を合わせて仕事をしていないことからデジタルを通じたコミュニケーションを活性化させたい。
- ・ 紙媒体を減らしスピード感ある情報連携を実現させたい。

3. 支援内容

- ・ 情報連携ツールを導入し、従業員の業務スケジュールを可視化。
- ・ 経営陣と従業員双方が申請、回覧に即座にレスポンスすることでリアルタイムでのやり取りが可能となり、社内コミュニケーションの活性化につながった。

主な事業内容：医療・福祉業

- ・ 就労支援施設運営
- ・ 唐津市内を中心に就労支援施設、GH、薬局を運営。

従業員：39名



導入した感想

➤ 業務改善ツールの導入支援

（担当：樽崎/理事長）

日常生活で利用しているスマホを主に用いて情報共有を図ったことで、紙媒体のころに比べると従業員間の連携が格段に強まったと思います。

従業員の年齢に関わらず全員がデジタルツールを利活用できています。導入当初は紙に慣れているため、使いこなせない従業員もいましたが、日常的に使うことで、デジタルのよさを感じながら社内に普及させることができたと感じています。

セミナーをきっかけにデジタル化に着手！

～ 情報共有ツールの刷新 ～



課題・背景（デジタル化に取り組んだきっかけ）

✓ セミナー参加がきっかけ

- ・ 佐賀県アクセラレータ事業ナビゲート型（武雄/塩田）会場に参加。
- ・ 離れた施設間での情報共有を目的にグループウェアのセミナーを受講。
- ・ 既にグループウェア導入済み、複数施設への連絡や施設利用者数の集計(日次)がスムーズにできておらず、業務運用・ツールの見直しを検討していた。



取組概要・支援内容（簡易ツールの導入支援）

1. 現状分析

- ・ 導入済みのグループウェアは社員のスケジュール管理、ワークフロー向き。
- ・ 施設利用者数の収集と集計がうまくいかず、Excelを共通のクラウド環境に保管し施設ごとに都度ダウンロード、更新、アップロードを繰り返していた。

2. 課題抽出

- ・ 施設間の情報共有をスムーズに行うため、クラウドツールを活用する。
- ・ 既存グループウェアと新ツールの棲み分けを明確にする。
- ・ 新ツール導入に際して、社員が分かりやすい業務からはじめる。
- ・ ツール利用者を社内全体に普及させる。社内ルールを策定する。

3. 支援内容

- ・ 簡易的な情報共有ツールを案内。試行的に利用開始。
- ・ 各拠点、同じクラウド環境下のシートに必要な数字を入力することで、利用者数の把握がスムーズになった。(都度ダウンロード、更新、アップロード不要)
- ・ 今後は、社内アンケートや車両運行管理、車検や車両点検の記録、社員の資格管理等に展開させる意向。

主な事業内容：高齢者、障がい者福祉業

- ・ 就労移行支援・就労継続支援B型、外出支援、居宅介護、就労継続支援A型、訪問看護、共同生活援助
- ・ 佐賀県武雄市内に高齢者、障がい者福祉施設、全6施設を運営

従業員：65名



導入した感想

➤ Google スプレッドシートの導入 (担当：成松)

従前より業務効率化を進めるという社内方針であり、自分たちでツールを調べて試行的に使っていましたが、それが自社に合うかどうかまでの検証はできていませんでした。今回、客観的にアドバイスをいただけたことで、取り組みたいことにマッチするツールを探ることができたと思います。これをきっかけとして、さらにデジタル化を加速させたいと思います。



全員が働きやすい職場環境を！

～ 情報連携ツールの導入～



課題・背景（デジタル化に取り組んだきっかけ）

✓ セミナー参加をきっかけに

- ・業界的にまだ紙媒体が多いこと、従業員への業務連絡手法が様々あり、統一したいと考えていた。
- ・今回の佐賀県の事業のセミナーへの参加をきっかけに従業員同士が情報を共有しやすい環境の構築を目的に社内協議を開始。



取組概要・支援内容（簡易ツールの導入支援）

1. 現状分析

- ・従業員は、紙業務に慣れており、情報共有の手法を紙からデジタルに移行することにハードルがあった。
- ・災害時に備えて起きた事象を全従業員にすぐに伝達できるツールが必要だった。
- ・紙への記入、紙の保管をなくすことを目標にデジタル化に着手。

2. 課題抽出

- ・簡易的なツールで従業員同士のコミュニケーションを活発にさせたい。
- ・利用者の情報をやり取りすることもできるセキュリティに強みあるツールを利活用したい。

3. 支援内容

- ・従業員がスムーズな情報共有がおこなえるよう、簡易的な連絡ツールの導入支援を管理者向けに実施。
- ・従業員も日常生活で利用しているスマホでツール利用ができるよう、従業員向け勉強会を実施した。ツールの理解、ツールを使って情報共有をおこなう目的を共有できた。

主な事業内容：医療・福祉業

唐津市でデイサービス、宅老所を運営

施設名称：『真心の家』『花の家』

利用者向けのイベントも季節に応じて多数あり、利用者のご家族からの評判も非常に高い

従業員：24名



導入した感想

➤ 情報連携ツールの導入支援

（担当：井上/代表）

ツールを導入したことで万が一の災害時も従業員共通で連絡できる環境ができたことで、LINEや電話との連絡手法の棲み分けが明確になりました。ナビゲーター(十八親和銀行)の方からの従業員向け勉強会でITリテラシーも向上したと感じます。今後は、スケジュールの共有についてもITツールを活用したいです。外部関係者との連絡も一元化できれば更に業務効率化が進むと感じています。

ヒトにしかできないことを厚く。

～ 業務改善ツールを導入して～



課題・背景 (DXに取り組んだきっかけ)

✓ ニーズ喚起をきっかけに

- ・従前から施設内に紙媒体が多く効率化を検討していた。佐賀県事業のナビゲーター(十八親和銀行)からの具体的な効率化支援の話を機にデジタル化へ着手。
- ・まずは職員のITリテラシーを向上させ、デジタルを用いた情報連携を実現。



取組概要・支援内容 (情報連携ツールの導入支援)

1. 現状分析

- ・報告書関連や利用者様を取り巻く情報を管理する上で紙媒体が多く、複数施設で管理負担が大きかった。

2. 課題抽出

- ・紙媒体を減らし、スムーズな利用者対応ができる体制を構築したい。
- ・複数施設拠点があることから、今後は施設間のコミュニケーションを活性化させたい。

3. 支援内容

- ・複数施設間でのやり取りは紙、電話であったため、不在や伝達の確認がとれなかったため、情報連携ツールを用いて施設間連携を深めた。
- ・従業員向けの研修を実施し、施設管理者のリテラシー向上を図りデジタルを用いた業務の浸透を図った。

主な事業内容 : 医療・福祉業

- ・ GH、DS、小規模多機能介護施設、宅老所等を一体的に管理運営を行っている。
- ・ 一体運営をおこなっている事業者は少なく、施設ロケーションや解放感ある入居スペースが利用者から好評を得ている。

従業員 : 121名



導入した感想

➤ 業務改善ツールの導入支援

- ・複数施設間でのやり取りは紙媒体でのやり取りが多く、事務の時間で利用者へ対応する時間がとりにくいこともあった。
- ・今回の取り組みを通してデジタルツールを用いた情報連携の基盤ができたのかなと感じています。今後は更にレベルアップした分野でのデジタル化を社内で検討していきたい。

デジタル化機運の高まった先

特定非営利活動法人 温暖化防止ネット

変化が見られた
対象企業

セミナーをきっかけにITツールの導入を決定

～ITツールの活用により在宅勤務が可能に～



課題・背景（デジタル化に取り組んだきっかけ）

✓ セミナー参加がきっかけ

- ・佐賀県アクセラレータ事業ナビゲート型、佐賀県産業スマート化センター会場に参加。
- ・社内コミュニケーションの活性化と在宅勤務を可能とするため、サイボウズOfficeを試行的に活用中。
- ・セミナーに登壇したサイボウズ担当者と意見交換しツール導入を決定。

取組概要・支援内容（セミナーをきっかけにITツールを導入）

1. 現状分析

- ・スムーズな情報共有とペーパーレスを実現するためGoogleドライブを活用中。
- ・Googleドライブは定着してきたものの社員各々のタスク、プロジェクト(案件)の管理体制が不足しており、クラウドツールの活用を検討。

2. 課題抽出

- ・各社員のタスク、プロジェクト(案件)管理に強いツールを活用する。
- ・全社員が使えるように担当者を選定する。
- ・社内浸透を目指し、カレンダー機能等の日常的に使える機能から使ってみる。
- ・サイボウズOfficeを活用して在宅勤務が可能な働き方を実現する。

3. 支援内容

- ・サイボウズOfficeの機能の確認と説明を実施。
- ・当社が目的としていたタスク、プロジェクト管理について重点的に要件整理。
- ・現在、一部の社員での運用に留まっているが、今後全社員での運用を目指す。
- ・ツール導入は自社で対応。

主な事業内容：

- ・地球温暖化防止活動促進事業(環境省)
- ・佐賀県地球温暖化防止対策事業(佐賀県)
- ・ゼロカーボンシティさがし推進パートナー制度運營業務(佐賀市)
etc

従業員：5名



支援を受けた感想

➤ 相談相手がいることの安心感が導入の決め手

(担当：鶴)

自社でツールを導入することはできますが、業務とツールの相性を客観的に評価できる企業は少ないと感じています。その点、相談相手があると、第三者目線で助言をもらえるので、デジタル化を推進していく上で重要なことだと感じました。以前から検討していた在宅勤務が可能になったことは、社員の働き方やモチベーションUPにつながるため、非常によかったと感じております。

セミナーをきっかけにデジタル化に着手

～ 勤怠管理、給与明細のWEB化検討 ～



課題・背景（デジタル化に取り組もうと考えたきっかけ）

✓ セミナー参加がきっかけ

- ・ 佐賀県アクセラレータ事業ナビゲート型（唐津/スマート化センター）会場に参加。
- ・ 業務の効率化、デジタル化は必要という認識はあるものの、具体的な手法が不明であり、本セミナーにはデジタル化に関するヒントを得るために参加。
- ・ 勤怠管理について、出勤簿とExcel管理であり、集計に時間と手間を要している。

取組概要・支援内容（現在導入に向けての社内調整中）

1. 現状分析

- ・ 社内のコミュニケーションツールはなく、紙での共有や個人LINEが主。
- ・ 勤怠管理、給与計算、給与明細の配布についてアナログであり、業務が煩雑化。
- ・ 店舗売上についても一部現金回収であるため、集金業務が発生。

2. 課題抽出

- ・ 運営する11店舗の情報共有をスムーズにするためグループウェアを活用する。
- ・ 勤怠管理～給与明細発行のクラウド化を検討する。
- ・ 勤怠管理ツール導入に向けて就労規則や社内ルールを見直す。
- ・ 集金業務廃止のため、キャッシュレス決済から集計までの流れを整備する。

3. 支援内容

- ・ 優先順位を整理し、勤怠管理～給与計算～給与明細発行業務から着手する方向。
- ・ 11店舗すべて同じタイミングでスタートさせる場合のリスクが大きいいため、スモールスタートで本部と1店舗からの試行を案内。
- ・ 上記業務の効率化について、ツール活用のメリットやコスト面について説明。
- ・ 現在、勤怠管理、給与計算の担当者と社内調整中の段階。

主な事業内容：薬局関連事業

（調剤薬局、ドラッグストア 11店舗経営）

佐賀県唐津市内を中心に調剤薬局、ドラッグストア11店舗を経営

従業員：65名



支援を受けた感想

➤ デジタル化着手までの筋道を理解した

（担当：辻/管理部総務課）

デジタルを使った業務効率化の有効性については、理解しているつもりでしたが、いざとなると、何からやればいいのか、本当に有効なのかといった不安が先行してしまいます。そんな中、自社の業務フローを整理して、我々のレベルに合わせたツールを案内してくれる方々が身近にいることは、心強いものです。まだまだこれからですが、小さなことからチャレンジしたいです。



克エンタープライズ 株式会社

主な事業内容： 学習塾

・佐賀、福岡、長崎、鹿児島、山口県にて学習塾を展開

従業員： 21名(講師約150名)

現状・背景

✓ 現状

営業拠点が複数の県にあり、円滑にコミュニケーションを図ることに課題があった為、グループウェアを導入。情報連携を密に行えるようになったことで効率的な運営を図っており、従業員間のやりとりもスムーズになった。

取組概要(グループウェア導入)

1. これまでの業務

- ・社内の報告関係は紙や口頭、電話が主となっていた。
- ・従業員は資料作成に手間を要していた。

2. ITツールの導入効果

報告や連絡の他、リアルタイムに情報を共有する事が可能となり、全社的に情報の発信と受信が出来るようになった。合わせて情報が蓄積出来るようになった事で必要な時にいつでも情報を閲覧出来る環境が構築された。グループウェアで情報を共有出来るようになり、会議を廃止することができた。

3. これから目指すべき姿

ITツールの導入により、社内のコミュニケーションは円滑に行われており、業務の効率化が図れている。今後は従業員間のスケジュールの共有等、更なる業務効率化を検討したいと考えている。



感想

➤ **従業員に歩み寄ってより働きやすい職場環境を。**

(担当：神武/代表取締役)

これからの時代はデジタルネイティブ世代の力が欠かせません。その中でITを活用していくには経営層と従業員が歩み寄り、お互いに働きやすい方法を模索し、取組んでいけるかが重要だと感じています。今後も若い世代の声に耳を傾け、社内を活発にしていきたいと思っています。

株式会社 ヤマグチ建設

主な事業内容：建築工事業

- ・店舗新築及び改修工事、住宅の新築、増改築、修繕、建て替えなどを行う
- ・「住む人に優しい住まいづくり」を基盤とし、多様なニーズに応えている

従業員：7名



課題・背景（きっかけ）

✓ セミナー参加がきっかけ

- ・佐賀県アクセラレータ事業ナビゲート型（唐津会場）に参加。
- ・従業員間の情報共有を目的にグループウェアのセミナーを受講。
- ・勤怠管理やデータ保管、見積書作成など業務を見直したい。



取組効果

1. これまでの業務フロー

- ・過去にも業務の見直しを行ってきたが、従業員間のITリテラシーに差があることや、案件ごとに対応が大きく異なることから変革が難しい状況であった。
- ・そのため、それぞれの業務を紙で行う従業員とデジタルを活用する従業員が存在し、情報の集約や保管など事務員が行う業務に負担感があった。

2. セミナーに参加して変わったこと

情報共有やデータ保管について、クラウドサービスを利用することで、事務所外でも活用できる方法を知ることができ、業務の見直しを検討する幅が広がったこと。

3. これから目指すべき姿

自社に合ったITツールの導入検討や業務の見直しを引き続き行い、運営体制を更に良くすることで、成長発展をし続ける。



顧客の感想

➤ デジタル化の理解が深まりました

(担当：山口)

今までも業務の見直しを行い、実際にITツールを導入したこともありましたが、なかなか定着しませんでした。今回セミナーに参加したことで、今まで知らなかったITツールの活用方法を知ることが出来ました。いきなり従業員全体でのITツール導入・活用は難しいかもしれませんが、スモールスタートで出来ることから取り組んで変革を進めていきたいです。

セミナーをきっかけにデジタル化にチャレンジ

～ 紙業務を可能な限りなくしていく～



課題・背景（デジタル化にチャレンジしようと思ったきっかけ）

✓ セミナー参加を機にデジタル化の着手を検討

- ・ 佐賀県アクセラレータ事業ナビゲート型、佐賀県産業スマート化センター会場に参加。
- ・ 施設利用者に関する送り事項や引継事項は、紙に残すことが多く、誰がいつ確認したか不明であり、都度担当者への確認が発生していた。
- ・ 施設間での情報連携も紙が多く、回覧やワークフローにも時間を要していた。

取組概要・支援内容（少人数での体験を全社的に普及させる）

1. 現状分析

- ・ 社内のコミュニケーションツールはなく、紙での共有や個人LINEが主。
- ・ 施設利用者の利用状況の記録(バイタル)や引継事項、回覧等が紙のため、共有すべき事項を社員に周知する際に時間と手間(紙記入)を要している。

2. 課題抽出

- ・ 3拠点のうち1拠点からスモールスタートで情報共有ツールを導入する。
- ・ 紙業務を洗い出し、導入効果が見込める業務から試行的にデジタル化に着手。
- ・ 業務効率化に向けた担当者を選定する。
- ・ 全社的な運用を見据えて、職員の理解を得られるよう勉強会を開催する。

3. 支援内容

- ・ 社内の旗振り役は、現時点で松尾氏1名。情報共有ツールの全社的な展開を見据えて担当者の選定を提案。
- ・ 現在、セミナー内でも体験いただいたLINEWORKSを案内中であり、導入予定。
- ・ 社内勉強会や利用方法について資料作成、提供をサポートする方向。
- ・ 今後、半年ほどかけて少人数での活用を成功させ、全社的に普及させる。

主な事業内容：

高齢者介護施設3拠点、歯科クリニック1店舗

佐賀県鹿島市にグループホーム2拠点、白石町に住宅型有料老人ホーム1拠点と歯科クリニックを経営

従業員：20名



支援を受けた感想

➤ スモールスタートで成功体験を作りたい

(担当：松尾/理事)

トップダウンで変える手法もありますが、職員がついて来ないと継続しません。特にデジタル化については、抵抗感を持った方がまだまだ多く、業務を変えたくないという気持ちも分かりますが、人手不足の中で効率的に業務を遂行していくことは、どの業界にも求められており、デジタル化は必須と考えています。まずは少人数で成功体験を作って、社内に普及させたいです。

黒木建設 株式会社

主な事業内容：総合建設業

- 一級建築士事務所、宅地建物取引業、損害保険代理業、太陽光発電事業
- 支店：福岡支店、嬉野支店
- 業務部(営業グループ、総務グループ)、工事部(土木グループ、建築グループ)
- 住宅部(クロキホーム/個人住宅建築施工)

従業員：79名



課題・背景 (きっかけ)

✓ バックオフィスの効率化を目的にセミナーに参加

- 建築業においてもIT化は急速に進んでおり、常に最新の情報を得ることで、業務運用の選択肢を増やしてきた。
- 多様化する働き方やこれから入社する将来ある社員のためにもバックオフィスの効率化について検討する必要があり、セミナーに参加。



取組効果

1. これまでの業務フロー

社内の多くの業務は「紙」での運用。回覧物、稟議等は紙で回すことが多いため、全体への周知や重要事項の決裁に時間を要していた。

2. セミナーに参加して変わったこと

LINWORKSには以前より関心があり、セミナーの中でも活用例等の紹介があり、当社で利活用する際のイメージが沸いた。まずは少人数で慣れること、その後、利用者を増やしていくことが重要だと感じた。仲間を増やしていきたい。

3. これから目指すべき姿

現場とバックオフィス業務は両輪であり、当社には、各部署間のコミュニケーションを大事にする文化が根付いている。LINWORKSの普及により、活発でスムーズなコミュニケーションをさらに加速させたい。

安全な現場が信頼を生む



KUROKI'S DREAM

創造の原点は人の夢

色々な人と人が集まって黒木建設を形づくっています。
一人ひとりの夢が大きければ大きいほど、創造のパワーが大きくなり、夢の実現に近づきます。



顧客の感想

➤ スモールスタートでとにかくトライ!

(担当：市川/総務グループ長)

新しいツールを導入することに抵抗感を持つ方は多いと感じています。LINWORKS導入において、気を付けたいことは、一気に変えてしまうのではなく、社内で成功体験を増やし、仲間を少しずつ増やしていくことです。スタートとしては、一部署と経営陣を巻き込んで試行的にトライしていきたいと考えています。



株式会社 山億

主な事業内容：綜合法事/祝事業

- 小売販売 9店舗：佐賀、長崎
- 儀式会館 1会場：佐賀
- 装飾品販売 9店舗：東京、大阪、名古屋、京都、福岡

課題・背景（きっかけ）

✓ 自社ではデジタル化を積極的に取り入れており、常に情報収集を行っている

・これまでもグループウェアやRPA、AIOCRの導入を行ってきたが、常に最新の情報を得ることで人手不足への対応、より効率的な業務改善を目指してきた。

取組効果

1. これまでの業務フロー

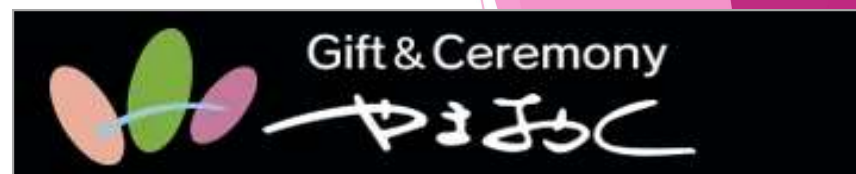
社内の多くの業務は「紙」に依存していた。FAXや回覧物等の紙で仕事をする文化から脱却すべく、安価に利用可能なクラウドサービスを活用することを検討。

2. セミナーに参加して変わったこと

- 自分たちの目指す姿をイメージし、まずは何に着手すべきか再考し、業務の棚卸を実施。
- 無駄な業務、業務フローの見直しを実行し、その中から優先順位や実現可能性（難易度）を見極めて、業務効率化に取り組んでいる。

3. これから目指すべき姿

社内が出た意見は積極的に取り入れ、デジタル化を進めていくことで自分たちの仕事を変えていきたいと考えている。失敗を恐れずにトライ＆エラーで何事にも興味を持って取り組んでいく。



顧客の感想

➤ **失敗を恐れずにチャレンジしていきたい**

(担当：菅村/専務取締役)

- コロナ禍においてはマイナスな面が多かったですが、新たな経営スタイルについて検討する機会を得る事が出来たと捉えています。
- 最近では社内からも意見が出てくるようになってきましたし、経営と従業員が一丸となって取り組む事で真の効率化が図れると思いますので、何事にも前向きに取り組んでいきたいと思っております。

社会福祉法人 花心会

主な事業内容：高齢者福祉業

- ・ 特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、サ高住を経営
- ・ 伊万里市内に5施設運営

従業員：250名

課題・背景（きっかけ）

✓ セミナー参加がきっかけ

- ・ 元々バックオフィス業務に煩雑さを感じており、伊万里市内で開催されるセミナーにも参加していた。
- ・ 今回LINEと同じ使い勝手で業務にも活かせるITツールのセミナーがあるとナビゲーター(十八親和銀行)から案内があり、セミナーに参加。

取組効果

1. これまでの業務フロー

過去にも情報共有ツールを導入しようとした経緯はあったものの幅広い従業員の年齢層や業務多忙が原因で導入が頓挫していた。そのため情報のやり取りは基本的に紙および電話。利用者さまのバイタル引継ぎなどにとても負担感があった。

2. セミナーに参加して変わったこと

- ・ 情報共有はもちろんのこと、管理会計や勤怠管理を含めたバックオフィス業務全般を改善する必要性を強く感じた。
- ・ ナビゲーターによる現状ヒアリングの際には理事長にも同席いただき、デジタル化の必要性について訴求し、優先順位をつけ、少しずつ取り組んでいくという共通認識を持つ、いい機会となった。

3. これから目指すべき姿

バックオフィス業務を効率化し、全施設のサービスの質向上を目指す。



顧客の感想

➤ デジタル化に前向きに取り組んでいきます！

(担当：石橋 ※写真は太田理事長)

これまでデジタル化に踏み出すチャンスはたくさんありました。ですが当社に合わなかったり、全社的にITリテラシーが低かったり、サービスの質向上どころか、デイリー業務で手一杯でした。今回セミナーに参加したことで、デジタル化についての解像度が上がり、少しハードルが低く感じるようになりました。

ユウシード東洋 株式会社

主な事業内容：

- ・石油製品販売（サービスステーション7ヶ店、油槽所2ヶ所、船舶用燃料供油）
- ・車検整備/自動車販売/洗車・コーティング施工/生命保険・損害保険代理店
- ・太陽光発電機器（ソーラーパネル）・高効率灯油給油器（エコフィール）取り扱い
- ・コインランドリー・レンタルコンテナ運営/太陽光発電所運営/伊万里湾バンカー

従業員：97名



課題・背景（きっかけ）

- ✓ 社員のスケジュールの把握が難しく、簡易的に共有できるツールを模索中
 - ・数多くの専門部署があり、部署間の情報共有をスムーズかつリアルタイムに行うことを検討していた。
 - ・数ある情報共有ツールの中で自社に適したツールを選定することが難しかった。



取組効果

1. これまでの業務フロー

社内の多くの業務は「紙」での運用。回覧物、稟議等の回付にも時間を要しており、決裁後の稟議書の保管にもコストがかかっている。記入したものの修正や指示事項は稟議書が手元に返ってくるまで不明なことも多々あった。

2. セミナーに参加して変わったこと

問題と思っていたことは、デジタルの活用で解決できると感じた。すべて解決しようとせず、優先順位を決めて少しずつトライしていくことが重要だと感じた。今回のように支援できる立場の方々に相談できる環境はありがたいと思う。

3. これから目指すべき姿

まずは一部署からの運用を始める。最初はスケジュール管理や簡易的なやり取りからスタートし、最終的には部署間をつなぐものとして利用したい。情報連携の分野に留まらず、思いついたことは積極的にトライしていきたい。



顧客の感想

➤ 利用者の不安を取り除くこと

(担当：池永)

社内で新しい取り組みをする際、社員全員がついてこれるのかといった不安は必ずあるもの。今回のセミナーとミーティングを通して、少人数で試行的にツールを使い、評価しながら、少しずつ利用者を増やしていく手法は不安を取り除くことにもつながり、非常に有効だと感じた。合わなければ撤退することも視野に入れることで、余裕を持ってチャレンジすることができる感じた。

協立産業 株式会社

主な事業内容：製造業

- ・伊万里市内を中心に砕石、生コン製造および販売や、廃棄物リサイクル業、ソーラー発電事業と多角経営
- ・事業所は伊万里市内に2か所

従業員：50名

課題・背景（きっかけ）

✓ セミナー参加がきっかけ

- ・日頃からデジタル化に関するセミナーには積極的に参加。
- ・目的は今現在どのような手段があり、どれぐらいの効果が見込めるか、といった情報を常にアップデートするため。
- ・ハンズオン研修で使い方も具体的に把握できるため当該セミナーに参加。

取組効果

1. これまでの業務フロー

業種特有の閉鎖的で保守的な部分が多い。人間の手が必ず必要な業種のため基本的には紙ベースもしくは感覚に頼る部分が多く、デジタル化に出遅れ感がある。また人的リソースにも課題感があり、社内にデジタル化を推進する人材がおらず、採用も難しい。

2. セミナーに参加して変わったこと

バックオフィス業務に関しては、事業へのインパクトは少ないと感じている。本業でデジタルを活用すると考えた場合、過去の顧客データを自社で活用し、社内のデータを分析する必要があると考えた。費用対効果も考え、**まずはスモールスタートとして、データをクラウド上でやり取りできるような体制を整備**しており、実装予定。

3. これから目指すべき姿

基本的に機械やデジタルにできるところを任せの方がいいと考える。労力をとにかく削って、人的リソースを増やすのではなく、業務を減らし、同じ人的リソースの中で余裕を持たせたい。



顧客の感想

➤ DXにゴールはありません。

（担当：北風/社長）

常日頃からデジタル化やDXについては意識をしております。事業自体にデジタル化を活用するには、AIやIoTを避けて通れないと考えています。様々なツールは世の中にたくさんありますが、目的を明確化し、セキュリティや費用対効果、従業員の負担感に鑑みて、メリットが多いものを導入していきたいです。

有限会社 城月堂

主な事業内容：菓子製造、販売

- ・創業70年以上を超える伊万里市内の老舗菓子屋
- ・伊万里地区だけでなく、長崎県北地区からも来客が多く年間6万人以上が来店
延命橋やかりんとう饅頭は長年のベストセラー商品（右写真あり）

従業員：30名



課題・背景（きっかけ）

✓ ナビゲーター(十八親和銀行)からのお声掛け

- ・従前より業務の効率化はマストと考えていた。
- ・佐賀県事業でナビゲーター(十八親和銀行)からITツールを利用した業務効率化について案内があり、今回、業務のデジタル化を検討。
- ・従業員は日々多忙であり、経営者として効率化の旗振り役として、社内での意思統一を目指す必要があると認識した。



取組効果

1. これまでの業務フロー

- ・業務連絡は紙媒体でのやり取りが一部残っており、タイムリーさに欠ける。
- ・商品展開や陳列、ポップアップ展開(広報)は属人的な業務となっている。

2. 課題抽出

売り場(店舗)、製造各部署の担当の意見や顧客データをスムーズに集計し顧客が望む商品の製造、開発、イベント開催を行う。

3. 今後の方針

社内の情報共有に強いツールを導入し、過去の販売実績の集計や、顧客の声を今以上に集め、選ばれる菓子屋になりたい。



顧客の感想

➤ デジタル化の旗振り役としても会社を引っ張る

(担当：大島/社長)

今後デジタル化を図り、お客さまの望む商品開発やイベント開催を企画する時間を捻出し、会社としていい方向に進んでいけるよう取り組みたいと思います。具体的な解決策はこれから検討していきますが、従業員の働きやすさも意識し、私自身がデジタル化の旗振り役として会社を引っ張っていかうと考えています。

西松浦通運 株式会社

主な事業内容：運輸業

- 国内輸送 / 国際輸送 / 引越サービス / 倉庫・保管 / 商品事業(LPガス) / 整備工場 / ドコモショップ / 保険代理店
- 営業所：本社、伊万里支店、佐賀営業所、鳥栖営業所、商品事業所、加津佐営業所、自動車整備工場、docomoショップ伊万里

従業員：120名

課題・背景（きっかけ）

✓ バックオフィス業務の効率化を企図

運輸業を基幹とし、他分野においても経営の幅を広げてきた。それに伴い、営業拠点、従業員数も増え、情報連携や勤怠管理等の管理体制が煩雑化してきたこともあり、本格的に業務効率化を検討するようになった。

取組効果

1. これまでの業務フロー

社内情報共有は各部署の責任者が本社からの伝達事項を伝えている。運用はグループウェアを利用しているが、アカウントは責任者のみ保有。勤怠管理は8拠点分のタイムカードを集計しており、担当者の負担が増加している。

2. 今後取り組みたいこと

まずは効果が見えやすいと考える、勤怠管理～給与計算～WEB明細の発行の分野に着手する。こちらは、従業員の理解と協力も必要となるため、2、3拠点からスタートし全社に普及させたい。

3. これから目指すべき姿

売上管理や会計などの基幹となるシステムについて、自社でも検討し、合うもの試していきたい。最終的には拠点の数に左右されることなく、リアルタイムに売上や利益状況が把握可能な体制にし、ITと経営をつなげる動きをしたい。



顧客の感想

➤ デジタル化なしでの発展は難しい (担当：松永)



2023年4月で創立80周年を迎え、会社としてさらにステップアップしていきたいと考えています。より多くのお客さまに信頼され、選んでいただくため、会社として盤石な体制を築いていきたいと思えます。そのため社内業務のデジタル化は必要不可欠だと感じます。有効なITツールの利活用は従業員をはじめ、会社を守る最大の武器だと考え、積極的に取り入れたいと考えています。

株式会社 LCFARM

主な事業内容：農作物の生産及び卸売

- ・ 野菜（キュウリ）や果物（イチゴ）の生産及び卸売

従業員：14名

課題を知る

✓ 現状分析

- ・ 人手不足と作業効率を上げるためITを積極的に活用。
- ・ 生育管理にスプレッドシート(Google)を利用していたが、データを削除してしまったり、上書き保存してしまう事象が発生しており、解決策を検討。

取組概要

1. これまでの業務フロー

- ・ 野菜の生育状況を写真に撮ったり、その日の作業内容をスプレッドシートへ入力。毎朝の会議でハウス作業や収穫(時期や量)について話し合う際に活用していたが、データの蓄積や分析には活用出来ていない状況であった。

2. 課題整理

- ・ 自社の強み・弱みを理解し、強みを伸ばして弱点を克服するための策を検討。
- ・ 合わせて従業員が誰でも使いこなす事が出来るようなITツールの導入を検討。

3. これから目指すべき姿

- ・ ハウス毎の生育状況をデータ化し、月毎や年毎に対比する事を可能にする事でデータ活用による予測に役立てていきたいと考えている。
- ・ 経験による差を埋めるために情報を見やすくしたり、操作の簡易性を求めていきたいと考えている。



事業参加者の声

➤ デジタルを恐れない

(担当：梅村/社長)

農業においてもITの活用は必要不可欠になりつつあります。人手不足への対応や、効率的な働き方を目指すには自分たちに見合ったITを使うことが重要です。日々試行錯誤しながら従業員でサポートし合って社内でデジタルを恐れない風土を築いています。今後もより効率化を目指した農業経営を目指します。

伊万里ケーブルテレビジョン 株式会社

主な事業内容：

- ・伊万里市に本社をおく情報通信業者。伊万里市内のケーブルテレビ利用者は人口に対し90%超をほこる地域に根付いたケーブル放送局。
- ・ケーブル放送のみでなく、インターネット事業やスマホ事業も展開中。

従業員：25名



課題・背景（きっかけ）

✓ 社内で業務効率化チームを組成

- ・デジタル化の推進について、社内でDX推進委員を組成。
- ・お客さまからのケーブルテレビ申込方法が紙であり、申込みの簡素化、当方の管理業務の効率化を企図し、ペーパーレスを進めていきたい。



取組概要

1. 問題点

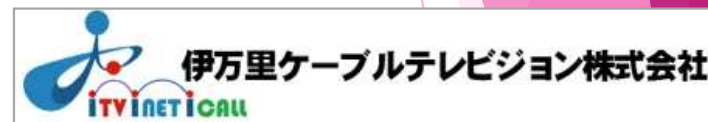
- ・申込内容がケーブルテレビだけではなく、インターネットや他媒体への申込みがあるため、様々な申込書があり、お客さまの記入負担が大きくなっている。
- ・申込後には書面の保管も必須であり保管場所の確保、申込内容の確認にかかる時間も相応にあり、様々な問題の原因だと認識している。

2. 当社の動き

- ・DX推進委員を各部署から選任し、全社的にDXを推進できる体制を構築。
- ・業務フローを再度見直し、問題点の整理を実施。
- ・他社事例等を参考に自社にあった全体最適でのデジタル化を模索中。

3. これから目指すべき姿

- ・DX推進委員を中心とし、まずは申込書類の効率化に着手したい。
- ・申込時の利用者の手間を減らすことで申込みの障壁を低くし、従業員の業務負担も少なくしたい。
- ・今後は、企画中のプロジェクトを成功させ、他業務の効率化も進めたい。



顧客の感想

➤ さらに地域に根差した放送局へ

(担当：川田)

今後、デジタル化やDXは当社にとって取り組むべきことと捉えており、DX推進委員を設立しました。各部署の問題点、課題を整理できる体制を作り、できることから着手したいと思います。他社さまの知見や実績を参考にし、今後も情報収集を継続していきます。佐賀県がデジタル分野の後押しを事業として取り組んでいることは、中小企業にとってプラスになると感じます。

西海テレビ 株式会社

主な事業内容：電気通信業

- ・有線テレビジョン放送事業、電気通信事業を行う
 - テレビ：伊万里市東山代町、山代町
 - インターネット：伊万里市東山代町、山代町、松浦市広域
 - その他テレビを活用した高齢者見守りサービスを実施

従業員：15名



課題・背景（きっかけ）

✓ セミナー参加がきっかけ

- ・日頃からDXセミナーには積極的に参加し、情報収集をしている。今回、佐賀県アクセラレータ事業のセミナーが開催されると銀行から案内があり参加。
- ・社内のバックオフィス業務は、様々なツールを検討・試行してきており、今回サイボウズofficeのハンズオン研修のため、使用感を確かめる目的もあった。



取組効果

1. これまでの業務フロー

自社内での取り組みについては、基本的に自社内で解決できる体制にある。バックオフィス業務についても同様で、自社開発も視野にいれ、まずは既存のツールをベースに変革を検討している。

2. セミナーに参加して変わったこと

自社の変革には時間も労力もかかる。これまでは単独でセミナーに参加することが多かったが、それでは社内の雰囲気も盛り上がらない。そのためセミナーごとに1名参加者をアサインし、複数名でセミナーに参加するようにしている。社内変革にかかる雰囲気醸成をしやすい環境作りの実現につながればと考えている。

3. これから目指すべき姿

『いつでも暮らしに役立つ情報を』という経営理念を、今後さらに実現するべく、自社導入にこだわり、そのヒントを得るためにこのようなセミナーに参加していきたい。



顧客の感想

➤ 社内DXに向けて検討しております

(担当：久保田)

デジタル化について業種柄、我々もお客さまから多少なりとも相談を受ける立場にもあるので、日ごろから情報収集を欠かさず行っております。地域住民の皆様のためにも、まずは自社内のデジタル化に関する取り組みを積極的に検討していきたいと思っています。いい情報があればまた教えてほしいです。

株式会社 ブリスにしやま

主な事業内容：衣料品小売業

- ・ 有田町に本社を置き衣料品の生活関連品を販売する事業者
- ・ 佐賀、長崎に6店舗を構える

従業員：88名



課題・背景（きっかけ）

✓ ナビゲーター(十八親和銀行)からのお声掛け

- ・ 課題の洗い出しを実施。
- ・ 本社と離れた店舗間の情報共有に課題感があった。
- ・ なにか対策を考えないといけないと感じていた。



取組効果

1. これまでの業務フロー

社内での情報共有はLINE。発注依頼や拠点間の連絡手段として利用しているが、情報が埋もれていくため過去情報を検索するのに、トークを遡る必要があり、手間に感じていた。

2. 課題抽出

LINEでの情報共有の種類を洗い出し。各店舗からの報告事項や売り場レイアウトの共有、顧客の声収集等様々な課題を抽出。

3. 今後の方針

業務改善ツールの導入による情報の一元化。社内で担当を決めスモールスタートで開始していく予定。ツール導入をきっかけに社内のコミュニケーション活性化にも期待している。



事業参加者の声

➤ DXを検討するきっかけになりました！

(担当：西山)

現在の情報共有は全てLINEを使っています。重要な情報が埋もれてしまっているため、別の方法を検討していました。自社だけの取り組みは難しいので、佐賀県のこのような事業があることはありがたいと感じています。これから、ナビゲーター(十八親和銀行)のサポートを受け社内定着に向けて動いていきます。デジタル化に取り組む良い機会となりました。

株式会社 一ノ瀬畜産

主な事業内容：畜産業

・佐賀県嬉野市の畜産業者

従業員：35名

課題・背景 (きっかけ)

✓ セミナー参加がきっかけ

- ・十八親和銀行の嬉野支店からの案内により、当事業のセミナーに参加。
- ・社内および社外関係者への情報共有について課題感を抱えており、ハンズオン形式のセミナーにて具体的な使用感を確認する目的もあった。

取組効果

1. これまでの業務フロー

- ・基本的には電話・メール・LINEで情報連携を実施中。
- ・営業、仕入れ、事務の3部門の情報共有がスムーズではなくチャットツール導入を検討中。海外のバイヤーとのコミュニケーションコストがかかっており、効率的に運用したい。

2. セミナーに参加して変わったこと

- ・チャットツールの使用感がよくわかったことで、自分の中で判断基準ができた。
- ・現在社内調整中ではあるが、効率化の目線をもって業務に励みたいと思う。

3. これから目指すべき姿

- ・徹底した業務効率化が既存製品・サービスの価値向上につながり、ひいては顧客接点の強化を生むと考えているので、それを達成させたい。



顧客の感想

➤ いいセミナーをありがとうございました！

(担当：一ノ瀬/総務部長)

- ・今回セミナーに参加をして、ツールの使いやすさ、導入のスピードに驚きました。国内の事業者だけでなく、海外の事業者ともコミュニケーションをとらないといけないため
- ・早めの対策を講じていきたいです。デジタル化について前向きに考えるいい機会になりました。

鹿島印刷 株式会社

主な事業内容：印刷業

- ・ 鹿島市に本社を置く印刷業
- ・ 鹿島、佐賀市、福岡、神奈川に営業所を構える

従業員：60名

課題・背景 (きっかけ)

✓ セミナー参加がきっかけ

社内での情報共有にLINEWORKSを活用していたが有効活用できていなかったため、ナビゲーター(十八親和銀行)からの案内で佐賀県事業である「LINEWORKS」セミナーに参加。

取組効果

1. これまでの業務

社内導入はしているものの有効に活用できておらずトークルームの利用のみがメインになっており、利用する従業員が限定されていた。

2. セミナーに参加して変わったこと

- ・ LINEWORKSの便利な機能を知ることができ、活用の幅が広がった。
- ・ ハンズオン形式であったため実際にツールに触れることでより理解が深まった。
- ・ その他の業務改善ツールについても情報を得ることができた。

3. これから目指すべき姿

- ・ バックオフィス業務全般の効率化。特に顧客管理の一元化に取り組みたい。
- ・ コーポレートスローガンである『「ここでしか」を極める』ために様々な活動に取り組んでいく。例.5S活動、SDGs



顧客の感想

➤ 社内での活用の幅が広がりました！

(担当：平川/取締役総括部長)

これまではLINEWORKSのトーク機能のみの利用でしたが、今回のセミナーをきっかけにスケジュール機能や設備予約機能等幅広い機能を知ることができ、とても理解が深まりました。LINEWORKSだけではなく、他のツールについても情報を得ることができ、今後の効率化デジタル化を考える良い機会になりました。

みやざき不動産 武雄

主な事業内容：不動産業

武雄市を中心に賃貸物件ではシングルタイプからファミリータイプまで幅広い物件を取り扱っており、情熱をもった顧客対応でお客様のニーズにあった紹介をおこなっている。

課題・背景（きっかけ）

✓ 情報共有の効率化が課題

- お客様のご相談にスピーディに解決するために、電話やLINEを用いたコミュニケーションを中心に行っていた。
- 素早さや手軽さに対して問題はないもののセキュリティ上の懸念やお客様のスケジュール管理において、もっと効率的な方法はないか考えていた。

取組効果

1. ビジネスチャットツールの情報収集

- ナビゲート型のセミナーで「サイボウズoffice」と「LINEWORKS」の説明を受け、実際にデモを触って体感することで活用のイメージが湧いた。
- 単に情報収集や口コミ以外でも触れてみることで最新のツールの理解が深まったと感じる。

2. 今後取り組みたいこと

お客様とのやりとりの効率化もありますが、家族とのスケジュール等を共有することで出先での連携などもスムーズになると感じた。自社の業務に照らし合わせながら、効率化に向けた情報収集を継続していく。



顧客の感想

(代表：宮崎/代表)

今回のセミナーは、取引金融機関である十八親和銀行さまの案内がきっかけで参加させて頂きました。本業以外でも色々な情報を収集して、知見を高めていくことは必要だと考えておりますので、有意義な取り組みであったと感じます。



株式会社 ふれあい

主な事業内容：高齢者介護福祉事業

- ・ 通所介護
- ・ 総合事業(第1号事業・介護予防通所介護相当サービス)
- ・ 住宅型有料老人ホーム
- ・ 訪問看護ステーション

従業員：49名

課題・背景 (きっかけ)

- ✓ **人手不足解消を目的としたクラウドツールの普及に日々奔走中！**
介護業界の人手不足は、事業の継続性の観点からも大きく問題視されている。足もとの業務をデジタル化し、人の手でしかできない介護サービスの質を上げていくことは、業界全体で取り組むべきこと。介護現場、バックオフィス両面において、早急に対応すべき課題と考える。

取組効果

- 1. これまでの業務フロー**
以前、勤怠管理のクラウド化に取り組むも、運用が一部に留まってしまい、現在はタイムカードとクラウドツールを併用。本業である介護記録ソフトについても電子的に記録可能であるが、紙記録、紙保管といった運用になっている。
- 2. 今後取り組みたいこと**
社員全員が効率的に業務ができるよう、小さなことから勉強会やツール利用についてのフォローを継続していきたい。介護現場専用のロボットやセンサーの有効活用、ツールを社員に体験してもらい、現場での活用につなげていく。
- 3. これから目指すべき姿**
現場に必要なロボットやセンサーの活用を積極的に実施。人でしかできないこと、機械やデジタルに任せられる部分を明確にして、利用者の方々への質の高いサービスの提供と、介護業界の健全な継続を目的に奔走し続けたい。



顧客の感想

➤ 行政との連携がマスト！

(担当：立石/社長※写真左)

介護業界は、マンパワーでは限界がきている。デジタルと人の融合(ハイブリット)を加速させることで、人手不足に対応しながら介護の質も向上させることを目指している。そのためIT機器導入はマストと考えるが、相応の費用負担があるため、足踏みする企業も多い。その点、行政との連携(支援や補助制度)も今後も必ず必要だと考える。